

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

敦賀市立中郷小学校

5月27日(木)に全国小学校6年生を対象にした「教科(国語・算数)に関する調査」と「質問紙調査」が実施されました。その結果から、本校児童の特徴についてお知らせします。これらの分析をもとに今後の指導改善に取り組み、「知・徳・体」の向上を目指していきますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

【国語】○良好であった点 ●課題となる点

- 1 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生は、「懸命に学びました」。
- 2 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域で働きました。
- 3 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、年ごとに増えていきました。
- 4 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務地は、一部の地域にかたよっていません。



【1③】

【1①】

○目的に応じ、話の内容が明確になるようなスピーチの構成について理解できています。

○資料に合った話の内容を適切に選ぶことができています。

「スピーチの一部」
(へ資料④)を示す)この地図を見てください。
このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

上野さん

- 1 事実と愚想とを区別できるように、「中」で実績、「終わり」で自分の愚想を話している。
 - 2 愚想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の愚想を話している。
 - 3 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの実績、「中」でもう一つの業績を話している。
 - 4 事実と愚想とを関連づけられるように、「中」で二つの実績と自分の愚想の両方を話している。
- 「上野さんは、「スピーチメモ」を作り、「スピーチ」の練習をしています。実績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【2③④】

●文章の中から必要な情報を読み取り、その条件に沿って自分の考えを書くこと(3つの条件をすべて満たして書くこと)が課題です。

二 相川さんは、「資料」の……印を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。イラストは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に沿って書きましょう。

(条件)
○ ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
○ 「資料」の中の文章と……の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 五十文字以上、八十文字以内にとめて書くこと。

※ 次のような用紙は書き用紙の形で、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※ 下の枠から書きましょう。どちらのようで行を定めないで、続けて書きましょう。

四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)
○ 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
○ 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 五十文字以上、七十文字以内にとめて書くこと。

※ 次のような用紙は書き用紙の形で、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※ 下の枠から書きましょう。どちらのようで行を定めないで、続けて書きましょう。

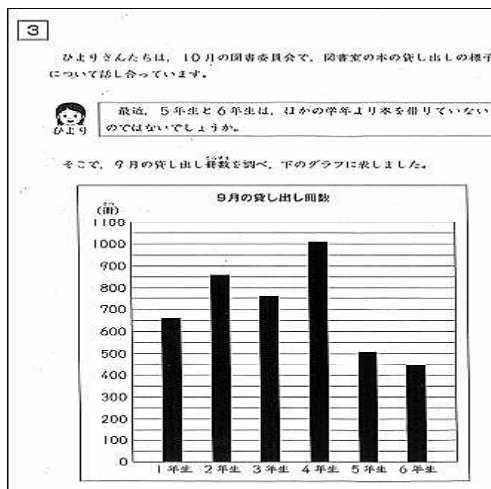
相川さん

今後の対策

- ・これからも、読み書きの練習を丁寧に行い、基礎的な学力の定着のため、きめ細かな指導を行います。自主学习ノートなどで自分の苦手な部分を繰り返し練習し、一人一人に合った学習をしていきます。
- ・複数の資料の中から、指定された条件に従って情報を読み取り、それに対する自分の考えを表現する活動に取り組みます。
- ・普段の授業に「○字以内で書く」「理由・根拠を述べる」「○○という言葉を使う」「自分の体験をふり返りながら書く」等、条件に沿って書く活動を取り入れます。

【算数】○良好であった点 ●課題となる点

【3】①②



- 棒グラフから、数量を正確に読み取ることができています。
- 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができています。

(1) 左のグラフの、6年生の貸し出し冊数は何冊ですか。
下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 401冊
- イ 405冊
- ウ 410冊
- エ 450冊

(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。

下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。
- イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。
- ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。
- エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

4

こはるさんたちは、今までに学習してきた、いろいろなわり算の問題についてふり返っています。

(1) ボールが23個あります。1箱にボールを6個ずつ入れていきます。



全部のボールを箱に入れるには、何箱あればよいかを求めするために、下の計算をしました。

$$23 \div 6 = 3 \text{ あまり } 5$$

全部のボールを箱に入れるには、少なくとも何箱あればよいかを書きましょう。

【4】①

- 日常生活の場面に即して判断することができています。
- あまりのボール5個も入れる箱が必要なので、3箱に1箱を足さなければいけないことを理解しています。

【2①】

2

図1のような直角三角形があります。

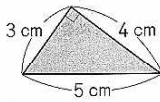


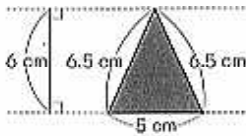
図1

(1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

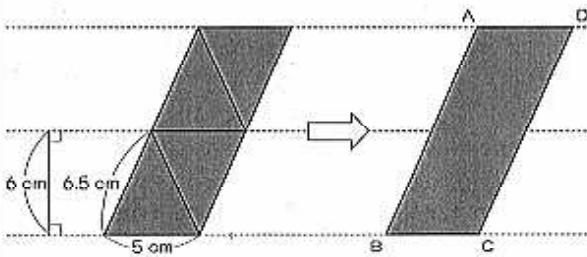
- 三角形の面積の公式「底辺×高さ÷2」を使うことができていません。
- 底辺と高さがどの部分なのか見つけることができていません。図形がどんな位置に置かれても、底辺と高さを的確に把握し、求積できるようにしておくことが大切です。直角三角形の向きを変えても、底辺を4cmとした場合の高さは3cm、底辺を3cmとした場合の高さは4cmという見方ができるようにします。

【2③】

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。

- 平行四辺形の面積の公式(底辺×高さ)を使っている説明ができていません。これも、高さ6.5cmととらえている児童が多く見られました。また、「底辺BCが5cm、高さが6cmの2倍、面積が「 $5\text{cm} \times 12\text{cm}$ 」というように、筋道立てて説明することが苦手です。

【1④】

(4) たけるさんたちは、城に着きました。

午後1時35分から見学を始めて、50分後に出発することになりました。出発する時刻は午後何時何分ですか。その時刻を書きましょう。



見学を始める時刻



出発する時刻

- 条件に合う時刻を理解することができています。

今後の対策

・式の意味を言葉で説明する活動を増やしていきます。その際、算数的用語(わられる数、わる数、商...)が使えるように練習していきます。

例: 4①より $23 \div 6 = 3$ (回) あまり5 (個)
あまりの5個も箱に入れるので $3 + 1 = 4$ (回) というようにノートに書いていく。

・図や絵を棒で指しながら、解き方を説明する練習をしていきます。

例: 2①より 「底辺はこの部分です。(棒で指しながら)」

・筋道を立てて説明できるように、「まず」「だから」の接続詞を使うなど、順に考えを書いていきます。

例: 2③より 平行四辺形は底辺×高さで求められます。底辺BCは5cmです。高さは6cmの2倍で12cmです。だから、面積は $5\text{cm} \times 12\text{cm}$ で60 cm^2 です。

・学習したことを教室に掲示したり、どうしたら解けそうか話し合ったりして、自力解決につなげていきます。そして、「わかった」「できた」喜びを味わえる経験を増やしていきます。

＜質問紙に関する結果から＞

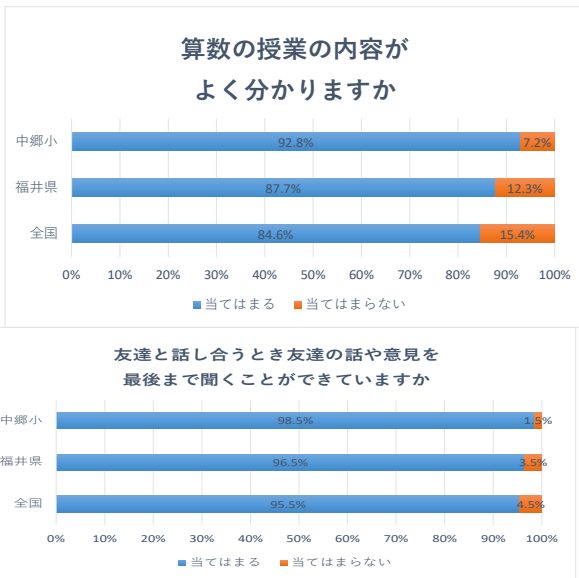
①

「算数の授業の内容はよくわかる」「算数の勉強は好き」と回答している児童が多いです。授業の様子を見ていても、絵や図を描いたり、式の意味を考えたりする児童が増えてきています。子どもたちが意欲的に授業に臨んでいる姿と、本校が長年推進している算数の研究の成果が表れたものとうれしく思います。これからも、子どもたちにとってわかる授業を目指し、さらなる授業改善に取り組んでいきます。

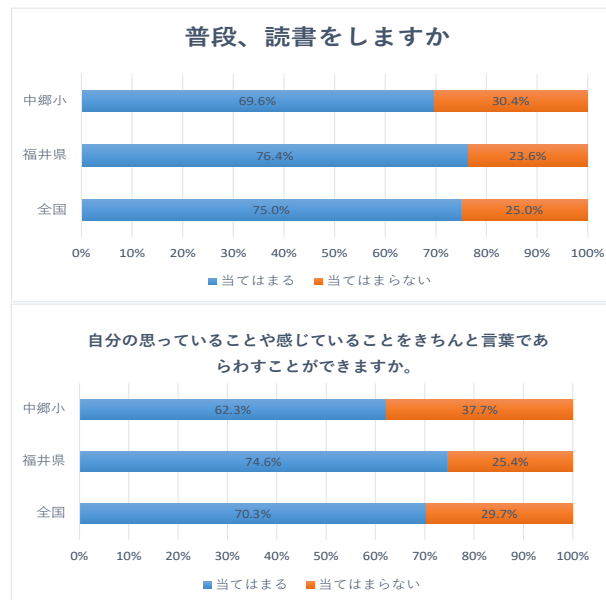
②

「普段読書をする」と回答した児童が、県や全国に比べて少ないことがわかりました。本は「頭の栄養」であり、「心の栄養」です。読書を通して新たな知識や気づきを得たり、いろいろな生き方を学んだりすることが、心の成長につながります。学校では、週末読書の記録、朝のアップタイムの読書の時間、図書館で読書する時間などを設けたり、さまざまなジャンルの本を紹介したり、本に親しむ環境を整えていきます。ご家庭でも、読み聞かせや親子読書等に取り組んでいただけるとありがたいです。

○ 良好であった点



● 課題となる点



③

友達の意見を最後まで聞くことができている児童が多く、これも喜ばしいことです。係活動や委員会活動などで話し合ったり、相手の気持ちを考え行動したりする児童が多いです。「聞く力」は「話す力」の元になるものです。たくさんの語彙や表現にふれることで、言葉を豊かに使いこなせるようになります。また、人の言葉に耳を傾け、正しく理解しようと努めることで、相手の気持ちを推しはかる想像力や共感力も鍛えられます。今後は、聞きながら相づちをうつなど、聞く力をさらに育てていきます。

④

友達の意見を最後まで聞くことができている児童が多い一方、自分の思いをきちんと言葉で表すことが苦手な児童が多いです。理由として、「間違っていたら恥ずかしい」ということが考えられます。普段から、「自分の考えを言うことは大切」「間違えることは恥ずかしくない」と実感できる経験をさせていきます。学習場面でも、間違いからよりよい解決方法を見出したり、分からないことを「分からない」と言い、教え合ったりしていきます。また、読書や日記を書くことで、表現方法を学ぶことができると思われるので、②でも述べましたが、読書を推奨していきます。

今後も職員一同力を合わせ「心ゆたかでたくましい子の育成」に努めてまいります。